

別紙

I . 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	児童福祉施設AED設置事業	滝川市	492, 000	492, 000	総事業費 528, 000

Ⅱ. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	児童福祉施設AED設置事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		滝川市					
交付金事業実施場所		滝川市朝日町東 他2か所					
交付金事業の概要		当該児童福祉施設は、一般市民がAEDを使用できるようになった平成16年以降、AEDが設置されていないため、救急措置に対応できる状況ではありません。このため、施設を利用する幼児・児童、保護者又は職員の安全性の確保が急務となっているためAED3台の購入を行います。 品目及び数量 AED3台					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		●交付金事業に関係する主要政策・施策（一部抜粋） ・第2期滝川市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度） 【第5章】 基本方針及び施策の展開 （第4節） 施策体系 《2-3》 児童の健全育成（子どもの居場所づくり） ・少子化の傾向とは反比例するように増加している放課後児童クラブ等の利用希望に応えるべく、放課後子ども総合プランの充実を図るとともに、生活の場としての環境整備、児童厚生員の質の向上に努めます。 目標：中地区児童センター 施設利用者数 7,000人(令和2年度) 三世代交流センター北地区分館 施設利用者数 1,800人(令和2年度) 江部乙町児童館 施設利用者数 5,500人(令和2年度) AEDが使用できるようになった平成16年以降、14年間にわたり設置されておらず、施設を利用する幼児・児童、保護者又は職員の安全性の確保が急務となっています。また、近年では、保護者における就業状況の多様化が進んでおり、施設の利用時間の増加からも、AEDを設置することによって、安全・安心な環境づくりと、地域住民の福祉の向上を図ります。					
事業開始年度		令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度		令和3年度
	中地区児童センター施設利用者数7,000人	施設利用者数(人)	成果実績	人	6,003		
			目標値	人	7,000		
			達成度	%	85.8%		
	三世代交流センター北地区分館施設利用者数1,800人	施設利用者数(人)	成果実績	人	1,332		
			目標値	人	1,800		
			達成度	%	74.0%		
	江部乙町児童館施設利用者数5,500人	施設利用者数(人)	成果実績	人	5,019		
			目標値	人	5,500		
			達成度	%	91.3%		
	評価年度の設定理由						
	令和2年度1年間の利用者数を測定するが、今年度中の評価期限に間に合わないため						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
本交付金を利用し、AED3台の購入を行うことができました。滝川市子ども・子育て支援事業計画に基づき設置したAEDをいつでも使えるよう、施設職員の救急救命講習を受けるなどし、施設を利用する幼児・児童、保護者又は職員の安全性の確保に努め、安全安心な環境づくり、さらには地域住民の福祉の向上を図ってまいります。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	AED購入台数（台）		活動実績	台	3	3	3
			活動見込	台	3	3	3
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度		令和2年度		備考
総事業費		590,760	518,400		528,000		
交付金充当額		516,000	518,400		492,000		
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		516,000	518,400		492,000		
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
物品の購入		随意契約(少額)		(株)常光 旭川支店(旭川市)		528,000	
交付金事業の担当課室		保健福祉部福祉課					
交付金事業の評価課室		保健福祉部福祉課					